



学校法人国際総合学園 国際医療看護福祉大学校

国際メディカルテクノロジー専門学校から 2017 年度に校名変更

校友会報 (2019)



トピックス

会長あいさつ	2
学校長あいさつ、新会員のことは、	
2018 年度校友会定期総会報告	3
学科だより	4・5
特集 i-medical のこの1年	6・7
進路状況	8・9
校友会事務局だより (会計報告)	10
2018 年度校友会役員名簿	11

定期総会のお知らせ

2020 年定期総会を下記のように開催いたします

日 時 令和 2 年 7 月 11 日 (土)
17:30 より総会、18:00 より懇親会

会 場 郡山市内
懇親会費 1,000 円

詳細は校友会事務局へお問い合わせください。

校友会事務局(i-medical 内) ☎024-956-0163

i-medical ホームページ <http://www.i-medical.jp/>

校友会 ホームページ <http://alumni.i-medical.jp/>

会長あいさつ

「校友会の始動に向けて」

校友会会長 佐藤 武諭毅



秋暑の候、校友会の皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお喜び申し上げます。又、日頃より校友会及び本校に対し多大なるご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて今年度の総会は7月15日(土) ビューホテルアネックスにおいて開催をさせて頂きました。校友会創設以降初めてのホテル開催となりました。多くの会員の皆様に参加いただき盛大に開催する事が出来ました。改めてまして会員の皆様のご協力を心から感謝いたします。

さて本校は平成29年から国際医療看護福祉大学校として新たな校名として学校運営されております。即戦力となる人材育

成の為、大学校としてのスタートを切りました。今年は言語聴覚士科・臨床工学技士科・救急救命士科は15期生が、介護福祉学科は6期生が、看護学科は8期生が卒業し新たに社会で活躍します。校友会会員数も増加し、現在約1668名の会員数を誇る大きな組織となりました。

皆さんの支えがあり、現在まで校友会を運営できました。しかしながら、勉強会などの卒業生が多く参加していただける企画に関しては実現できていない状況です。そこで今後は各期・各科から担当幹事を選出し、活発な校友会活動となるように準備を進めてまいります。是非、我々と一緒にご協力いただける方がありましたら学校事務局等にお声がけいただければ幸いです。また担当幹事に関しては校友会役員からお声がけをさせて頂

きますので、お引き受けいただければ幸いです。

さらに校友会では、すべての校友会会員の皆様から各学科の勉強会や著名人の講演会など校友会会員の皆様にとって有意義な時間となる企画を随時募集しております。職場での悩み、医療資格者としての悩み、様々あるかと思えます。医療機器も日々進化をしております。使用方法や注意点など勉強するのも良いかと思えます。校友会の勉強会・講演会などの企画を通して悩みを解決頂ければと思えます。教室の提供やプロジェクト等、必要備品の貸し出しも可能です。勉強会開催に関しては各学科の先生や学校事務局にお声がけください。

さて校友会では会報誌や校友会総会の案内など様々な郵送物をお送りしております。皆様のお手元には届いておりますでしょうか。ご実家の住所のままや転居先住所の登録し忘れで、多くの案内が未着状態で返送されます。変更手続きは学校事務局までご連絡頂ければ変更可能ですので今一度ご確認ください。

ば幸いです。ご不明な場合はお調べする事も可能ですのでご連絡下さい。

また新たな案内ツールとして校友会のFacebookを立上げました。こちらも随時更新してまいりますのでよろしく願います。合わせて現在、既存のクラスLINEグループを利用した案内も担当幹事中心に実施させて頂いてまいります。多くの皆様に情報提供できるよう、合わせてご協力の程よろしくお願いたします。

さて次年度は7月11日(土)に校友会総会・懇親会を企画しております。お仕事やプライベート等でお時間の調整つかない場合があるかと思いますが盛大に開催したいと考えておりますのでご参加の程よろしくお願いたします。今後も学校と校友会それぞれの立場を尊重しつつ、相互に連携を深め発展し行ければと思えます。そのためには会員の皆様のご協力が多く必要です。引き続き校友会活動について変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

結びにあたり会員各位並びに係者の皆様の益々の発展とご活躍をご祈念申し上げ挨拶いたします。

二〇一八年度 最優秀賞

救急救命士科 長谷川 諒

二〇一八年度 優秀賞

看護学科 野澤 奈津子

言語聴覚士科 小池 優花

臨床工学技士科 鈴木 稚菜

救急救命士科 武田 一哉

介護福祉学科 鈴木 麻梨奈



「医療福祉の未来を支える養成校として」

学校長 佐藤 本実



令和元年を迎え校友会の皆様のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

さて、本校は二〇〇二年四月の開校から十七年目を迎え卒業生数は千六百名を超え、多くの医療福祉の従事者を育成してまいりました。その間、平成二十九年に校名を国際医療看護福祉大学校と変更、また文部科学省より職業実践専門課程の認定を全学科受けるなど、職業教育をより充実させた校運営を行ってきました。そして多くの医療機関、福祉施設等から評価をいただくことができました。それはまさに地域医療福祉の現場で活躍している卒業生が、本校で取り組んでいる実践教育の成果で

あり、学校の評価となっているものと感謝申し上げます。今後地域医療福祉を担う人材育成に教職員一丸となって邁進してまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

「人生百年時代」と言われ高齢化率は高まり、国民の三人に一人が高齢者の時代となっております、その方々を支える若い人材が不足していくと言われております。労働人口の減少により医療福祉の現場では、これまで以上に多職種連携が重要となり、チーム医療チームケアのつながりは組織を超え、地域包括としてより良い制度が構築されていくでしょう。そして、アイメデイカルの校友会の皆さんが共に知識と技術を結集して、未来の医療福祉の可能性を築き上げてくれることを期待いたします。終わりに、校友会の皆様のご健勝と益々のご発展をご祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

「先生方への感謝とこれからの抱負」

救急救命士科 長谷川 諒



校友会の皆様初めました。昨年度三月に卒業した、救急救命士科の長谷川と申します。

この度、平成三十年卒業生を代表し、新会員の挨拶を承りました。国際メデイカルテクノロジー専門学校時代からの歴史の深さを改めて実感し、また、校友会を通し、諸先輩方と交流をとれる機会をいただけることを嬉しく感じています。現在、私は茨城県内の消防本部で勤務をしています。卒業から早六ヶ月が過ぎようとしています。新社会人としての実感と救急救命士としての責任を日々感じております。傷病者を目の前にして緊張したり、業務に慣れず指導を受けるような日

もありますが、職場の上司、先輩、同期の方々に支えられながら、やりがいを持って働くことが出来ています。学校で学んだ知識や技術はもちろんですが、専門職に就く者としての人間性や社会性を学校生活で学べたことが役立っているのだと思います。

在学中、勉強が大変だと感じたことや、先生の言うことに理不尽さを感じたこともありましたが、今はそれが全て糧になっています。先生方、本当にありがとうございます。これからも国際医療看護福祉大学の後輩たちが医療者を目指して頑張っていくはずで。後輩が私の職場に入職してきたときに、きちんと指導できるように、これからも一生懸命頑張っていきたいと思えます。

二〇一八年度

校友会定期

総会報告

◇開会の言葉

◇会長挨拶

◇校長挨拶

◇校友会事務局挨拶

◇議長・書記任命

◇議事

◇閉会の言葉

◇懇親会（会場）

郡山ビューホテルアネックス

学 科 だ よ り

「看護学科へ学生と共に前進」

看護学科 学科長 鈴木 邦子

校友会会員の皆様、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

看護学科の近況についてお知らせいたします。本学科のトピックスは、修業年限が4年から3年に変更したことです。本学科は、ゆとりある教育を目指し、修業年限4年の看護専門学校として開学いたしました。間もなく超高齢社会に突入する社会情勢に対応しつつ、時代の要請に応え得る看護専門職を一人でも多く輩出するため、平成30年度入学生より、修業年限3年に変更いたしました。来令和2年度は、修業年限4年の4年生と、修業年限3年の3年生が最終学年を迎え、同時に卒業・看護師国家試験受験という年になります。教職員一同、学生の目標を実現できる学校づくりを目指して、常に学生と共に前進してまいりたいと思います。

今後、多くの会員の皆さまが、母校に足を運んでいただける機会、また、総会・懇親会にお越しいただける機会が増え、会員相互の交流が深まっていくことを祈念しております。



「学校の母・郡山の母はまだまだ健在」

言語聴覚士 学科長 齋藤 順子

卒業生の皆さん、こんにちは。

今、1期生から15期生までの学校を巣立って行った皆さんの顔を一人ひとり思い出しながら書いています。

平成14年に第1期生と一緒に言語聴覚業界に足を踏み入れた私も、早、教員生活18年目を迎えています。総勢387名の卒業生を送り出してきておられます。総勢387名の卒業生を送り出してきたことになりました。それなりに歳は重ねてしまいましたが、いまだに若者から熱いエネルギーと刺激をもらいながら、今は学科長として学科の見守隊長を務めております。

皆さんは、今、どんな人生を歩んでいますか？

時々私の耳にも皆さんの近況が入ってきます。業務の傍ら様々な学会での発表を重ねている人、認定言語聴覚士を取得した人、まったく別の仕事に就いている人・・・卒業してからの環境で、道は分かれてしまったかもしれませんが、皆さんが充実した幸せな人生を歩いていてくれたら、とても嬉しいのです。そして、言語聴覚士になりたい、人の役に立ちたい、と希望を持って入学してくれた時の夢を叶えていてくれたら嬉しいのです。

一緒に学校生活を送ったクラスメートの顔、そして頑張った臨床実習、国試勉強・・・たまには思い出してみてください。あの3年間はきつと人生の宝物になっていると思います。



「変革 チャレンジ精神のもとに」

臨床工学技士科学科長 塩田 博幸

卒業生諸君お元気ですか、また仕事・私生活は充実していますか。当校も15年以上の歴史を積み重ねて、少しずつ変わりつつあります。

3年前から研修を滋賀県ニプロ・IMEPに変え、生体を使ったものとなりました。呼吸・循環管理をする麻酔班、人工心肺や心筋保護を行う心肺班、手術を行う手術班に分かれ、ほとんどの事を学生主体で行っています。臨床さんからの環境で、在校生も緊張し震えながら奮闘しています。また、ミニチュアダイアライザー作成、心臓解剖など4日間盛りだくさんです。

校内ではご家族向けに、3年間の集大成として実技報告会を行なっています。救命救急センター・心臓カテーテル室・血液浄化室・手術室を学校で再現し、ご家族の前で披露しています。令和になり臨床工学技士のカリキュラムも改訂されるのも間近です。その変化に対応できる様、様々なことにチャレンジし、卒業生が誇れる母校になれる様邁進していきます。

これからの校友会が益々発展し、活発な会になる事を祈念します。

「坂道の先にあるもの」

救急救命士科学科長 高橋 司

卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。私も当校の卒業生であるが故、実際に指導をした学生以外にも先輩、同級生、後輩がいるため、複雑な思いで執筆しているところです(苦笑)

救急救命士科の近況として、昨年度から2年制課程へと修業年限が短縮いたしました。これまで3年間で行ってきた国家試験対策と公務員試験対策を2年間で行っており、これまでのカリキュラムと比べても内容は大きく変化しています。日進月歩する医療に適応できる救急救命士の育成を目指し、教員一同、日々学生と共に奮闘中です。

先日、卒業生が学校に遊びに来て、職場での苦労とやがいの話をしてくれました。在学時は勉強、勉強で大変だったそうですが、今となってはいい思い出であり、苦労があったからこそ今があるそうです。このような嬉しい報告を励みに、今後も病院前救護のスペシャリストとなり得る人材の育成を目指して我々教員も頑張ります！
過酷な現場も多々あるかと思えます。怪我・事故のないようご自愛ください。近況の報告と先輩への叱咤激励を兼ねて、ぜひ学校に訪れていただければ幸いです。

「SIMPLE」

介護福祉科学科長 千葉 智子

卒業生のみなさんこんにちは
早いもので、今年は7期生の学生さんを迎え介護福祉学科は様々な介護の現状の変化に対応できるように教育環境を作り上げながら楽しく学習しています。

合同授業・特別授業は、「救急救命士科」と緊急時の対応、「看護学科」と技術交換会(沐浴、移乗の介護)、「臨床工学技士科」から人工呼吸器について、「美容学科」の洗髪、「パティシエ学科」とカップケーキ作り、「声優学科」からの読みきかせ、その他スーパートランスファー、エンゼルメイクなど皆さんにとって懐かしい授業、新しい授業と思われたかと思います。この授業が、現場での仕事に生かされていたら嬉しいですね。

また、3年前から1年ごとにテーマを作っています。今年のテーマは「SIMPLE」、介護職に求められることが、多様化されている今だからこそ原点に立ち戻りたいと考えています。

S Smile (笑顔)
I Infinity (限りなく)
M Motivation (モチベーション)
P Passion (情熱)
L Love (愛)
E Energy (エネルギー)

卒業生は、介護福祉職として、介護を目指した原点に立ち戻り、学校は教育の原点を見つめ共により良い介護を目指し介護の魅力を発信させていきましょう。

この言葉が、卒業生の皆さんにとって少しでもエネルギー源になれば嬉しいですね。

特集

i-medicalの1年



看護学科
ナーシングセレモニー



看護学科
食事の援助演習



看護学科
新入生とお花見 (WiZ校舎屋上)



言語聴覚士科
言語サロン



言語聴覚士科
音楽療法での太鼓演奏



言語聴覚士科
実習前実技試験



臨床工学技士科
実技報告会



臨床工学技士科
ニプロ iMEP 研修



臨床工学技士科
メディカルクリエーション福島



救急救命士科
学生救急救命技術選手権大会



救急救命士科
ドローン研修



救急救命士科・介護福祉学科(合同)
介護福祉施設での緊急時対応訓練



介護福祉学科
介護支援ロボット体験



介護福祉学科
ハンドマッサージ実習

卒業生の進路状況

看護校舎 副校長 影山 かほる

当校の就職内定率は開設以来100%で推移しています。しかし、年々就職活動も過去のようにただ一度で合格することは困難になっています。各就職先の情報によると、慢性的な看護師不足はさることながら、看護の質を優先し優秀な看護師の育成に力を注いでいるとのことです。今後の就職活動もそれらを視野に入れ指導することが必須だと考えます。

平成30年度の卒業生27名の進路は病院就職者県内13名、県外13名であり、進学は助産師課程（大学）1名でした。学生の就職希望をみると大学病院または総合病院など大規模な病院を目指しています。また、内容的には急性期の病院で技術を磨き将来は認定看護師になりたいなど様々でありました。以上のことから今後の就職指導で重要なのは、入学時から積極的にインターシップ参加、希望する病院の奨学金を早期に受けられるようにしたいと思います。また何より大切なのは、国家試験に合格し看護師として内定通知を受けられるよう教員が一丸となって指導して参ります。

暑い夏の今日、今年卒業した学生が二人で近況報告に来てくれます。夢を実現して立派に成長した姿にほっこりするひと時でした。

本校舎 教務部長 岡崎 史紹

校友会報誌第1号の刊行、おめでとうございます。校友会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

74名の就職内定率につきましては、言語聴覚士科21/21名(100%)、臨床工学技士科27/27名(100%)、救急救命士科13/13名(100%)、介護福祉学科13/13名(100%)となりしました。進路種別は病院就職51名、消防機関7名、進学1名、介護福祉施設15名。地域別では福島県内30名、福島県以外の東北5県12名、関東地方31名になります。

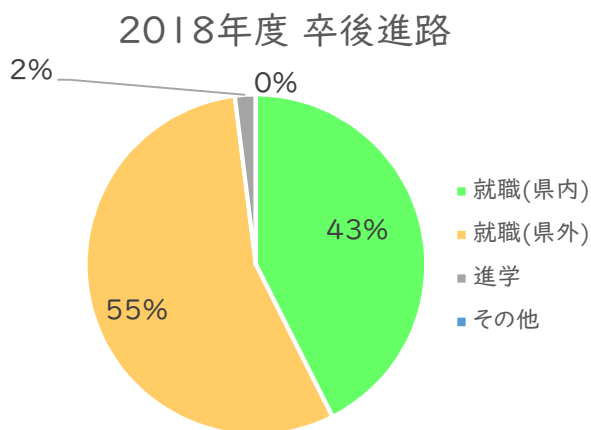
令和元年度の在校生は248名で、その内訳は言語聴覚士科85名、臨床工学技士科86名、救急救命士科56名、介護福祉学科21名となります。

教務部一同、国家試験の合格、就職内定を目標に一丸となって学生指導に取り組んでおります。特に今年度は救急救命士科が2年課程に変更後、初めて卒業生を輩出することになるため、新たなカリキュラムとの格闘が続いています。

卒業後、各地域に根差す医療人材を輩出できるよう、教務部一同精進して参ります。

2018年度 卒後進路割合

本校舎74名、看護校舎27名 計101名



2018年度卒業生 就職先一覧

就職（県内）

公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	一般財団法人 脳神経疾患研究所 泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター
特定非営利活動法人 豊心会 グループホームすずらん	公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院
福島医療生活協同組合 わたり病院	医療法人社団 とさわ会 介護老人保健施設 小名浜ときわ苑
医療法人 むつき会	医療法人社団 恵周会 白河病院
医療法人 援賢会 すずきクリニック	社会医療法人 秀公会 あづま脳神経外科病院
医療法人 慈繁会 土屋病院	社団医療法人 養生会 かしま病院
医療法人 辰星会 耕記念病院	社会福祉法人 いずみ福祉会 スプリングガーデンあさか
医療法人 安積保養園 あさかホスピタル	社会福祉法人 安積福祉会 特別養護老人ホーム カーサ・ミッレ
一般財団法人 太田総合病院	社会福祉法人 楽寿会 特別養護老人ホーム 楽寿荘
一般財団法人 脳神経疾患研究所 総合南東北病院	社会福祉法人 郡山福祉会 特別養護老人ホーム うねめの里
一般財団法人 温知会 会津中央病院	社会福祉法人 済生会 済生会福島総合病院
一般財団法人 太田総合病院 附属太田西ノ内病院	社会福祉法人 南東北福祉事業団 総合南東北福祉センター八山田
一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院	

就職（県外）

医療法人 徳洲会 庄内余目病院	公立学校共済組合 東北中央病院
医療法人 望真会 古作クリニック	一般財団法人 筑波麓仁会 筑波学園病院
医療法人財団 明理会 新松戸中央総合病院	一般社団法人 巨樹の会 赤羽リハビリテーション病院
医療法人社団 ほたか会	学校法人 岩手医科大学 附属病院
医療法人社団 愛友会 上尾中央第二病院	学校法人 国際医療福祉大学 国際医療福祉大学病院
医療法人社団 永生会 南多摩病院	学校法人 国際医療福祉大学 成田病院
医療法人社団 協友会 船橋総合病院	帝京平成大学 助産別科
医療法人社団 健育会 湘南慶育病院	日本大学医学部附属板橋病院
医療法人社団 健育会 石巻健育会病院	マロニエ医療福祉専門学校 助産学科
医療法人社団 鴻愛会 こうのす共生病院	みやぎ県南中核病院
医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院	戸田中央医科グループ 戸田中央総合病院
医療法人社団 松弘会 三愛病院	公立刈田総合病院
医療法人社団 清永会 矢吹病院	国民健康保険 南部町医療センター
医療法人社団 泉松会	社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
医療法人社団 富家会 富家病院	社会福祉法人 つるかめ
医療法人社団 友志会 リハビリテーション花の舎病院	秋田県厚生農業協同組合連合会
医療法人社団 醫光会 おうら病院	大崎市民病院
社会医療法人 中山会 宇都宮記念病院	渡辺内科クリニック
社会福祉法人 恩賜財団済生会 北上済生会病院	特定医療法人 弘慈会 宮古第一病院
独立行政法人 市立秋田総合病院	洛和会ヘルスケアシステム
独立行政法人 国立病院機構埼玉病院	

消防機関

東京消防庁 消防官Ⅲ類	茨城町消防本部
須賀川地方広域消防組合 消防本部	仙南地域広域行政事務組合 消防本部
伊達地方消防組合 消防本部	北茨城市消防本部
福島市消防本部	桐生市消防本部
郡山地方広域消防組合 消防本部	

校友会 事務局だより

2019年7月13日(土)に令和初の校友会総会・懇親会を実施いたしました。今年は久しぶりのホテル開催ということで、場所や交通の利便性からか例年に比較して多くの会員の方に参加いただきました。

卒業後初めて会う同期生や、10数年ぶりに顔を合わせた同期生など、それぞれ話題に花が咲き、懇親を深められたようでした。また、校友会員同士でご結婚し、子どもを連れてご参加いただいた方もおりました。

まずは校友会会員で懇親を深め、互いに研鑽し、悩みがあれば相談できる、そんな雰囲気の校友会にしていければと考えています。

現在の卒業生総数1,668名は決して少ない数ではありません。本校で出会い、勉強し、社会へ巣立ったのは、なにかの「縁」ですので、どうかこの縁を大切に、この規模を生かして、活発な校友会活動をしていきたいと考えています。

皆様のご協力よろしくお願いいたします。

校友会事務局長 佐藤 隆浩



会計報告並びに次年度予算状況

2018年度 校友会決算書
自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月31日

2019年度 校友会予算書
自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

【収入の部】				
項目	予算額	決算額	差異	備考
前期繰越	8,018,029	8,018,029		
校友会入会金	1,260,000	1,140,000	120,000	114名×10,000円
校友会総会会費	15,000	15,000	0	1,000円×15名
合計	9,293,029	9,173,029	120,000	

【支出の部】				
項目	予算額	決算額	差異	備考
総会運営費	268,000	241,568	26,432	
校友会運営委託費	64,800	64,800	0	
FSG校友会連合会業務委託費	121,000	121,000	0	
サーバ・システム保守管理費	129,600	129,600	0	
OB・OG勉強会運営費	250,000	93,486	156,514	ハナミスキの会
会議費	20,000	0	20,000	
雑費	10,000	1,080	8,920	
弔慰金(弔電)	10,000	0	10,000	
小計	873,400	651,534	221,866	
次期繰越	8,419,629	8,521,495	△101,866	
合計	9,293,029	9,173,029	120,000	

【収入の部】		
項目	予算額	備考
前期繰越	8,521,495	
校友会入会金	1,070,000	107名×10,000円
校友会総会会費	350,000	1,000円×35名分
合計	9,941,495	

【支出の部】		
項目	予算額	備考
総会運営費	268,000	
校友会運営委託費	64,800	
FSG校友会連合会業務委託費	121,000	
HP更新・保守・管理費	129,600	
OB・OG勉強会運営費	250,000	
会議費	20,000	
雑費	10,000	
弔慰金(弔電)	10,000	
小計	873,400	
次期繰越	9,068,095	
合計	9,941,495	

ハナミズキの会のご案内

2019年度も言語聴覚士OB向け症例検討会「ハナミズキの会」を開催いたします。
多数の参加をお待ちしております。参加を希望される方は幹事までご連絡ください。

日時：2020年3月（予定）

場所：国際医療看護福祉大学校 本校舎4階

お問い合わせ：言語聴覚士科 齋藤 順子

TEL 024-956-0163

2018年度 校友会役員名簿

	役 職	氏 名	卒 年 ・ 科
1	会 長	佐藤 武諭毅	平20・救急
2	副 会 長	安田 公彦	平17・臨床
3	実行委員長	高橋 司	平23・救急
4	実行委員	益子 勝良	平17・鍼灸
5	実行委員	池澤 博之	平18・救急
6	事 務 局	佐藤 隆浩	

事務局からのお知らせ

今年度よりアクセスしやすいよう校友会のHPを学校のHP内に設置いたしました。国際医療看護福祉大学校HPトップページの「国際メディカルテクノロジー専門学校校友会」のタブからご覧いただけます。校友会の状況や証明書の発行申請など詳しく説明がありますので是非ご覧ください。

またFacebookにも校友会ページがありますので情報交換の場としてご活用ください。

校友会活動がより盛り上がるよう良いアイデア等ありましたら事務局にご相談ください。

よろしく願いいたします。

発 行 学校法人国際総合学園 国際医療看護福祉大学校 校友会
事 務 局 〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-19

TEL 024-946-0160 **FAX** 024-956-0170

E-Mail

発 行 人 校友会長 佐藤 武諭毅/実行委員長 高橋 司

発 行 日 2019年10月●日(●)